

## 課題名：同種臍帯血移植における HLA アリル不適合の影響

### ①試料・情報の利用目的

同種臍帯血移植における HLA-A、-B、-C、-DRB1 アリル不適合の影響を検討することを目的としています。

### ②試料・情報の利用方法

日本造血細胞移植学会造血細胞移植登録一元管理プログラムに登録された情報を使用します。初回同種臍帯血移植症例の中で、HLA-A、-B、-C、-DRB1 アリル適合度が明らかになっている例を抽出し、解析対象とします。研究実施機関は 2021 年 112 月までです。

### ③提供する方法

収集する情報は、個人情報が出られないよう匿名化され、暗号化されたインターネット通信により日本造血細胞移植学会造血細胞移植登録一元管理プログラムに送付、保存されます。この情報から必要な部分のみが、パスワード保護された匿名化された情報として研究施設に送付されます。情報管理は個人情報の取り扱いに準じて行われています。

### ④利用・提供する情報

生年月日、年齢、性別、診断病名、診断日、同種造血幹細胞移植に関するデータなど。

### ⑤利用する者の範囲

研究代表者：

国立病院機構仙台医療センター血液内科  
勝岡優奈

### ⑥情報管理について責任を有する者の氏名、名称

日本造血細胞移植データセンター  
データセンター長：熱田 由子

### ⑦研究対象者又は代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他研究機関への提供を停止すること

本研究不参加や参加取りやめを希望される方は担当医に直接申し出てください。本研究代表者へ連絡され情報はすべて削除されます。その場合も患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

⑧情報の利用・提供の停止を受け付ける方法

臨床情報を研究に利用されたくない場合は担当医または下記の研究責任者に申し出てください。

研究責任者：勝岡 優奈

国立病院機構仙台医療センター血液内科

仙台市宮城野区宮城野 2-11-12

TEL : 022-293-1111

FAX : 022-291-8114